

# コスモス 11月号

第70巻 第11号

◆宮柁ニカレンダ―(44)十一月の歌

十一月に入りたる庭に秋桜鮮明なる花片々と

残す

歌集『白秋陶像』

『白秋陶像』中「秋桜」と題された四首の最後の歌。初出はコスモス昭和59年12月号。「来む年は白秋生誕百年ぞ」に続き『山西省通志聚集』の歌(二首)があり、最後にこの作品が置かれている。

掲出の作品は前三首とは趣が異なっており、頭の中の世界からふつと現実に戻って感じた季節の移ろいを、視界に入った庭と色鮮やかなコスモスの残り花で表現した。

「柁二に老境はなかった」とかつて読んだ言葉(「短歌」昭62・12、篠弘)を思い出させる一首である。  
(後藤 美子)